

86号

図書館だより

にのみやまちとしょかん

R8(2026)年3月発行



↑ 図書館2階 地域資料コーナー
二宮町について調べる基本資料や、新しい資料を中心に、配架しています。

～地域資料収集の取組み～

二宮町図書館では、町や、町にゆかりのある人物についての資料を、地域資料として収集・保存しています。「二宮町について調べたい」と思ったら、図書館2階の地域資料コーナーにお越しください。調べ方が分からないときは、カウンターの職員へどうぞお気軽にお尋ねください。

図書館の2階には、常設の展示ケースがあり、二宮ゆかりの人物を紹介しています。ご来館の際にはぜひご覧ください。

現在展示中 3/3(火)～6/28(日)

二宮ゆかりの人物「吾妻神社と松浦伯爵」



二宮ゆかりの人物

箱根駅伝選手 (第54回大会出場)

もり じろう
森 二郎

毎年お正月の風物詩となっている箱根駅伝。二宮町出身で箱根駅伝を走った選手は、これまで11名います。昭和53年、第54回箱根駅伝の復路7区を走った森二郎さんもそのひとりです。

森さんは、子どものころは肥満児で運動が苦手でしたが、二宮小学校の担任の先生が森さんを心配して、放課後ほぼ毎日、校庭や吾妻山を一緒に走ってくれました。最初は苦しく、放っておいてほしいと思っていたのですが、「これだけやっているのだから、長距離走では誰にも負けたくない」と考え始めたそうです。実際、毎日継続しているうちに、どんどん痩せていき、長距離走では学校内で負けることがなくなってきました。

二宮中学校では陸上部に入部。当時の二宮中学校は学業面で優秀な中学として知られていました。まず勉強、ついで部活という雰囲気の中、森さんと仲間たちは、まず部活、次に勉強。3年生の時には出場したほとんどの大会で、県内上位の成績を収めます。その後は陸上の強豪校だった小田原高校に進



第54回箱根駅伝、復路7区を走る森二郎さん
(撮影場所:大磯町内)

学します。高校でも同期の良きライバルと切磋琢磨しながら陸上を続け、3年生の時には県の高校駅伝で3位に入賞しています。

(裏面に続く)



二宮ゆかりの人物

森 二郎

(表面の続き)

箱根駅伝常連校だった筑波大学に入学すると、箱根駅伝出場を目指して練習に励みました。1年次の12月には部内の上位20人にまで残りましたが、残念ながら箱根駅伝に出場することはできませんでした。その後も、足を骨折し半年以上ギブスをはめていた期間がありつつも、箱根駅伝出場を目指して練習を続けます。3年生の時には部内上位に入りながら、予選会で7位と惜しくも箱根駅伝の出場は叶いませんでした。練習に集中できない自分に悩んだ森さんは、大学の先輩である金栗四三さん(※)を訪ねて話を聞き、自分の話も聞いてもらいました。そのおかげで、その後は辛い練習にも励むことができ、ついに4年生で箱根駅伝7区の選手に選ばれます。

1月3日当日の箱根は雪、小田原中継所で襷を受け取ったのは、最終順位の15位でした。前を行く選手とどれだけ離れているのか分からないまま走り続け、二宮町に入る押切の坂を上り始めた時、今までと全く違う景色が目飛び込んできます。沿道の皆さんが、大学の校章と共に「筑波大学 ガンバレ 森二郎」と書かれた小旗を手にしていたのです。途中の歩道橋にも筑波大学を応援する横断幕がかかり、他にも町内数カ所で「ガンバレ! 筑波大学」と書かれた大きな応援旗が振られていました。なんとか



図書館2階展示ケースの前で、思い出の資料などを見つめる森さん

読み取った文字に胸が熱くなりました。実は、12月30日に「7区を走るようになった」と電話で知らせた後、両親が印刷屋に駆け込み、手作業で3,000本の小旗を作ってくれたのでした。

二宮を過ぎた後の記憶はほとんどなく、平塚中継所までの21.4キロを一人で駆け抜けました。繰り上げに間に合わず襷をつなぐことはできませんでしたが、箱根駅伝を走ったことは、今でも森さんの心の支えであり、誇りになっています。「支えてくれた両親、一緒にきつい練習をしてくれた仲間たちや先輩、後輩がいたからこそその結果」と今でも感謝をしています。

※金栗四三(かなくり しそう): 日本人初のオリンピック選手。東京高等師範学校(現在の筑波大学)出身で、箱根駅伝創設者。

生涯学習センターラディアン・図書館の 大規模改修工事に伴う休館のお知らせ

外壁等の修繕や特定天井の改修などに加えて、図書館のリニューアル工事を行うため、休館します。休館中は、予約した資料を貸出する窓口を開設予定です。貸出窓口の詳細は確定次第お知らせします。

休館予定期間: 令和9年1月~令和10年12月



二宮町公式 LINE アカウントで、イベント情報や図書館からのお知らせを配信しています。

ぜひ公式 LINE アカウントのお友達登録をしてください♪



© 兼登ハイジ/二宮町

図書館基金への募金が PayPayで出来るようになりました!

館内の募金箱に加え、PayPayの二次元コードを活用した「デジタル募金箱」による寄付の受付を開始しました。図書館1階カウンターの二次元コードから寄付ができますので、ぜひご協力をお願いいたします。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123 二宮町二宮1240-10 ☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

<https://www.ninomiya-public-library.jp/>



図書館ホームページ